

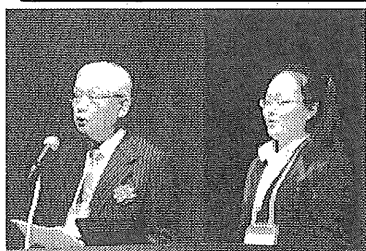
土谷特殊農機製作所

# 低炭素杯2015

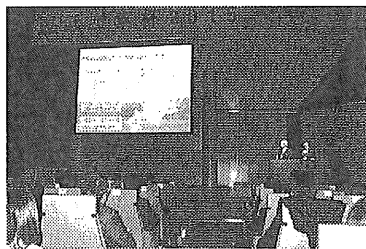
## ファイナリストに選出

土谷特殊農機製作所  
(株)帯広市西21条北1-3-2・☎0155(37)2161・土谷紀明社長  
のバイオガス発電プラントにおける取り組みが2月13、14日に東京ビッグサイトにて開催された「低炭素杯2015」(主催:低炭素杯実行委員会)の地域エネルギー部門においてファイナリストに選出された。

「低炭素杯」は次世代



プレゼンに臨む土谷社長と齊藤氏



プレゼンには大勢の来場者が聴講

14日には表彰式が行われ、39団体の中から受賞団体を発表。同社は惜しくも受賞を逃したが、今後の活躍が期待される。

に向けた低炭素社会の構築を目指し開催されているもの。全国の学校・非営利団体・企業・自治体等が地域性や団体の特性に応じた個性的な温暖化防止の取組や事業を発表し、温暖化活動日本一を競う場となっている。今回は、約1700団体からの応募があり、同社はその中から厳正な審査を経て、39団体のファイナリストに選出された。

13日は、ファイナリストに選出された団体が一堂に集結。ステージでプレゼンテーションを行い、その成果を競った。

同社は、地域エネルギー部門において、「家畜糞尿を利用したバイオガスプラントの開発」と題して発表。土谷社長と企画開発室・博士の齊藤朋子氏がプレゼンを行った。プレゼンでは、バイオガス発電プラントは家畜糞尿を嫌気発酵させて、メタンガスを回収し、そのガスをコージエネレーションユニットのエネルギー源として発電する事、また発生したエネルギーを有効活用する事でCO2削減につながる事等、単にエネルギーを創出するだけでなく、家畜の排泄物から温暖化効果ガスを飛散させない地球環境改善システムである事を発表した。

発表後、土谷社長は「昨年の新エネ大賞会長賞に続き、今回の低炭素杯でファイナリストに選出されたことを嬉しく思う。FITを契機に再生可能エネルギーへの関心が高まってきている。今後も世界をみて、新しい技術を取入れ、地域で実践していければと思う。現在、我社のアイスシエルトとバイオガスプラントを組み合わせた植物工場の展開に取組んでいる。地域のエネルギーを使って新しい農業を創造できればと思う」と述べた。

# グランプリに下川町

## 土谷特殊農機具も発表

低炭素杯2015

「低炭素杯2015」内の東京ビッグサイト国  
が、13、14の2日間、都 際会議場において、低炭

素杯実行委員会(事務局  
II 一般社団法人地球温暖

化防止全国ネット)の主  
権により開催され、ファ

イナリスト39団体による  
ステーション発表などが行

った。  
初日の午後にはまず最初

に挨拶に立った小宮山宏  
「低炭素杯」というの  
は、全国から選り抜かれ

た温暖化防止に取り組  
ファイナリスト(学校・  
企業・NPO)が集結し、

後、こ東京ビッグサイト

4分間のステーション発表

成果を競い、温暖化防止

活動の日本一を決定する

もの。今年度も、北海道

も1000件以上に及ぶ

から沖縄までの全国か

立候補をいただき、今日

発表を行う土谷社長

ステーションに登場していた

だくのはわずか39件の精

選された、いわば激戦を

勝ち抜いた皆さんの低炭

素社会実現に向けた取り

組みを、ぜひ記憶に留め

ていただきたい」などと

力強く語った。

今回の環境大臣賞・グ

ランプリには、地域エネ

ルギー部門で発表を行っ

た「アイシエルト」

た北海道の下川町(地域

資源「森林」を活用した

エネルギー自給型小規模

自治体モデルの構築)が

選ばれ、同・金賞には、

兵庫県の特定非営利活動

法人ごみじゅばんをはじ

め4団体を選ばれた。

また、北海道帯広市の

「寒さが作るエネルギー

」審査員特別賞を受賞

したと報告した。

今回の発表では、家畜

糞尿を利用した「バイオ

ガス発電プラント」をア

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

を創出するだけでなくな

る糞尿を、嫌気発酵さ

せてメタンガスを回収

し、それをエネルギー源

として発電を行う。道内

に大量に存在し、コスト

とエネルギーをかけて処

理していた家畜糞尿から

安定して発電することを

可能にした。

「バイオガス発電プラ

ント」は、単にエネルギー

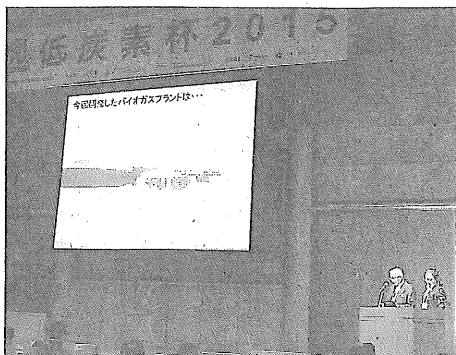
を創出するだけでなくな

# バイオガスプラント

## 土谷 低炭素杯ファイナリストに



土谷社長



プレゼンテーションする土谷社長と齊藤氏

「低炭素杯」は、次世代に向けた低炭素社会の構築を目指して平成22年度より開催。5回目を迎える今年度は、北海道から

土谷特殊農機製作所(土谷紀明社長、北海道帯広市西21条北1-3-2)の「家畜糞尿を利用したバイオガス発電プラント」が、2月13・14日に東京ビッグサイト国際会議場で行われた「低炭素杯2015」(小宮山宏低炭素杯実行委員長)で、地域エネルギー部門においてファイナリストに選出。13日にプレゼンテーションを行った。

ら沖繩までの全国から地域大会を含めて1700団体から応募があり、その中から厳選な審査を経てファイナリストとして

選ばれた学校・非営利団体・企業・自治体の多様な39団体が日本一を競った。

その中で新たに創設された「地域エネルギー部門」で

ファイナリストとなった土谷特殊農機製作所の「家畜糞尿を利用したバイオガス発電プラント」

「家畜糞尿を利用したバイオガス発電プラント」とは、家畜糞尿を嫌気発酵させてメタンガスを回収。そのガスをコージエネレーションユニットのエネルギー源として利用し、発電するシステム。畜産農家経営による環境負荷を低減し、発生したエネルギーの80%以上を有効利用することで化石燃料の使用を抑え、CO<sub>2</sub>削減にも貢献。また、処理後のスラリーは良質

な肥料になるため、効率の良い循環型農業を可能にしている。畜産農家への普及と、バイオガスプラントの提案から設計・施工・メンテナンスまでを一貫して提供していることが評価され、平成25年度には一般財団法人新エネルギー財団主催の「新エネ大賞」で、新エネルギー財団会長賞を受賞している。

プレゼンテーションでは、土谷社長が同社の歩みと共にバイオガスプラントの流れを説明。牛の糞尿があれば、安定して24時間提供ができ、これまでに北海道内14箇所まで建設してきたことを紹介した上で「バイオガス発電プラントは、単なるエネルギーの放出だけではなく、家畜の排泄物からメタンの温暖化効果ガスを発生させない地球環境改善に貢献するシステム。今年度は新たに10箇所を設置する予定」と述べ、参加者から高い関心が示された。

環境大臣賞グランプリには北海道下川町の「地域資源「森林」を活用したエネルギー自給型小規模自治体モデル」が選ばれた。